

<第三種郵便物認可>

阪神大震災の発生から丸15年となる17日が近づき、住宅の耐震化が目される中、社団法人「大阪府木材連合会」(大阪市西区)と京都大学防災研究所が共同開発した、台所や寝室など滞在時間の長い部屋の壁をピンポイントで補強する耐震工法の実証試験が15日、同研究所(京都市宇治市)で行われた。



大地震を想定した大きな揺れに間伐材が耐えられるか確認する実験の様子
15日午前10時34分、京都市宇治市の京大防災研究所(板東和正撮影)

「人のいる空間守れる」

ローコスト耐震化実証 京大防災研

実験は平成20年に続き2回目。前回は、補強した部屋が震度7に耐えることが証明されたが、壁に変形がみられた。今回はさらに補強を強化し、震度7でも変形はなかった。

同工法は、住居の耐震化が進まない要因であるコストと工期を抑えるため、20年から開発を開始。補強が必要な部屋の壁だけを撤去し、代わりにスギの間伐材をボルトで固めた一辺約10センチを内蔵した壁を設置して耐震性を強化する。すでに一般住宅の実用化も始まっている。

同連合会によると、阪神大震災で犠牲者の多くが建物倒壊で亡くなったにもかかわらず、現在も費用などの問題で一般住宅の耐震化の普及は遅れている。家屋全体の耐震工事は、天井や床などを取り外す大がかりなものになりがちで費用は数百万円に上ることがある。

が、必要な部屋だけを補強する工法では数十万円、工期も数日間済むという。

雅子さま 追悼式へ出席へ

宮内庁は15日、皇太子妃雅子さまが16、17日の日程で、阪神・淡路大震災15周年追悼式典出席のため、皇太子さまとともに兵庫県(神戸市)入りされると発表。病氣療養中の雅子さまが本格的な地方訪問に臨まれるのは2年ぶり。

雅子さまの地方訪問は最近では昨年4月、「全国みどりの愛護のつどい」出席のため神奈川県を訪問した例などがあるが、宿泊を伴う地方訪問は平成20年1月25、26日、冬季国体開会式出席のため長野県を訪問されて以来となる。

皇太子ご夫妻は16日午後、羽田発の航空機で大阪(伊丹)空港に到着、神戸

開発に携わった同研究所の川瀬博教授は「実験で家が損壊しても、人のいる空間が守れることがわかった」と話した。

市に入られる。17日は式典に出席するほか、震災遺族らと懇談される予定。



レース	95	○	黒丸	210	○	飛騨	130	○	山	130	○
マホ	160	○	丸	200	○	おき	140	○	平	140	○
口野	130	○	丸	130	○	伊吹	150	○	吹	200	○
ノ野	155	○	丸	130	○	余	250	○	余	250	○
ノ野	240	○	丸	180	○	余	250	○	余	250	○
ノ野	230	○	丸	180	○	余	250	○	余	250	○
ノ野	320	○	丸	180	○	余	250	○	余	250	○
ノ野	170	○	丸	180	○	余	250	○	余	250	○
ノ野	140	○	丸	180	○	余	250	○	余	250	○
ノ野	200	○	丸	180	○	余	250	○	余	250	○
ノ野	250	○	丸	180	○	余	250	○	余	250	○